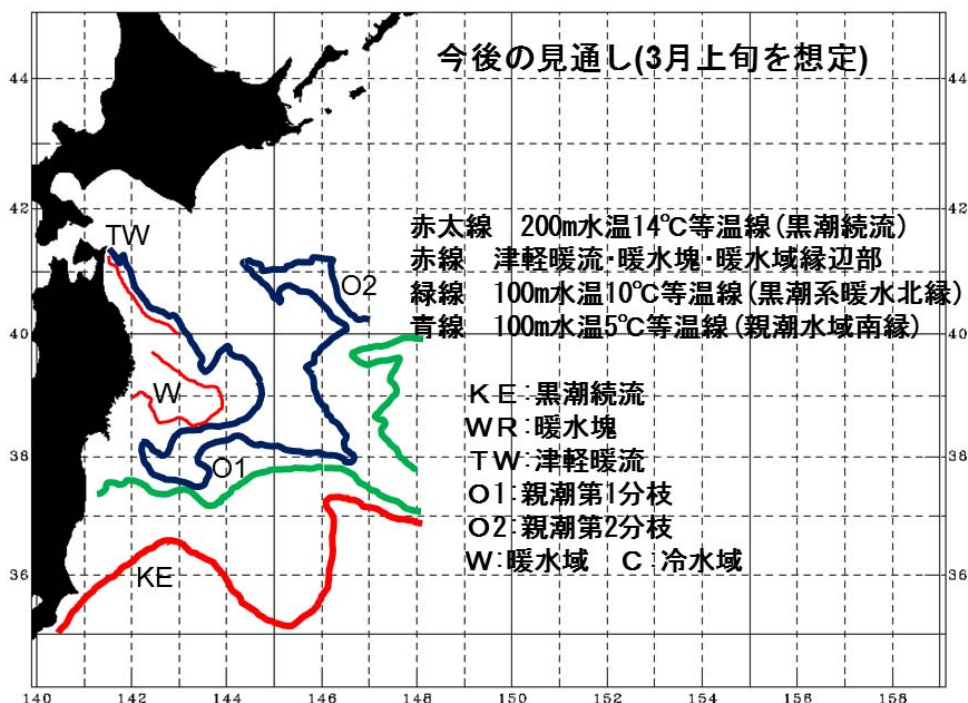


平成25年度 第5回 東北海区海況予報

— 別表の水産関係機関が検討し独立行政法人水産総合研究センター
北海道区水産研究所、東北区水産研究所がとりまとめた結果 —

今後の見通し(平成26年3月~4月)のポイント

- ・ 近海の黒潮続流の北限位置は平年並みで推移する。
- ・ 親潮第1分枝の張り出しは南偏~平年並みで推移する。
- ・ 三陸近海に暖水域が広がる。



問い合わせ先

独立行政法人水産総合研究センター北海道区水産研究所 業務推進部

担当: 野上、秋山

電話: 011-822-2131、ファックス: 011-822-3342

独立行政法人水産総合研究センター東北区水産研究所 業務推進部

電話: 022-365-1191、ファックス: 022-367-1250

当資料のホームページ掲載先URL

<http://abchan.job.affrc.go.jp/>

<http://tnfri.fra.affrc.go.jp/>

平成25年度東北海区海況予報 第5号

《今後の見通し (2014年3月～4月)》 (注) FRA-ROMSシステムによる結果

近海の黒潮続流の北限位置は平年並みで推移し、親潮第1分枝の張り出しは南偏～平年並みで推移する。また、三陸近海に暖水域が広がる。

《海況の経過 (2013年12月～2014年1月) の特徴》 (注) FRA-ROMSシステムによる結果

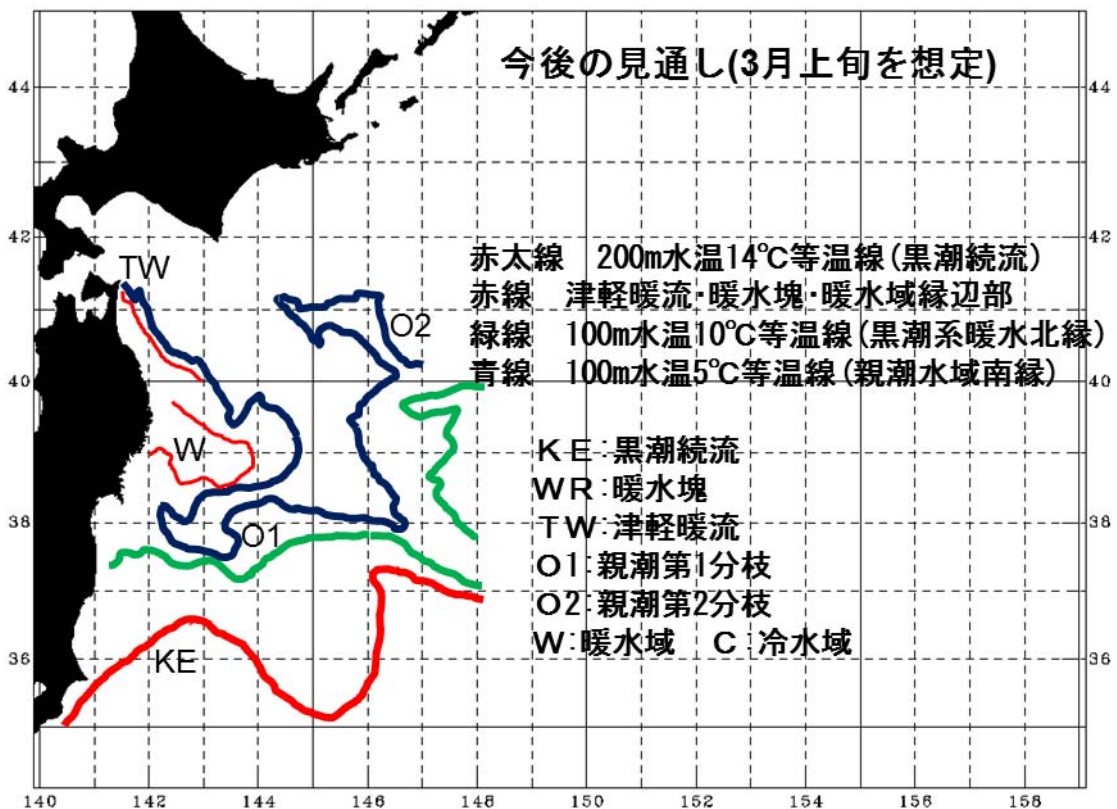
近海の黒潮続流の北限位置はやや北偏で推移し、親潮第1分枝の張り出しは平年並みで推移した。また、釧路南東沖、三陸沖の暖水塊は停滞し、金華山沖の暖水塊は消滅した。

《現況 (2014年2月上旬) の特徴》 (注) FRA-ROMSシステムによる結果

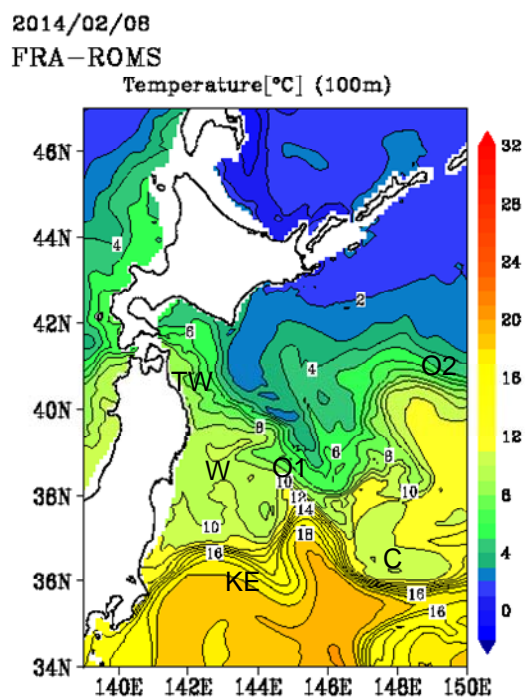
近海の黒潮続流の北限位置はやや北偏であり、親潮第1分枝の張り出しはやや南偏で南東に張り出している。また、三陸近海に暖水域が広がり、釧路南東沖の暖水塊は消滅している。

(注) この海況予報は、独立行政法人水産総合研究センターにより開発され、2012年5月より運用を開始したFRA-ROMSシステムを用いて作成している。

3月上旬予測水温分布図



2月上旬現況水温分布図 (100m深)



図中の記号はそれぞれ O1が親潮第1分枝、O2が親潮第2分枝、WRが暖水塊、Wが暖水域、Cが冷水域、KEが黒潮続流、TWが津軽暖流を表している。

参 画 機 関

<p>地方独立行政法人 青森県産業技術センター 水産総合研究所</p> <p>岩手県水産技術センター</p> <p>宮城県水産技術総合センター</p> <p>福島県水産試験場</p> <p>茨城県水産試験場</p>	<p>独立行政法人 水産総合研究センター 東北区水産研究所</p> <p>(取りまとめ機関)</p> <p>独立行政法人 水産総合研究センター 北海道区水産研究所</p>
---	---